

## 2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 4 月 20 日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	朱 珉
研究課題	家族主義からみる中国の社会保障				
研究キーワード	中国 社会保障 家族主義 脱家族化 再家族化	当年度計画に対する達成度	2. 順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	3. すべての人に健康と福祉を	5. ジェンダー平等を実現しよう	16. 平和と公正をすべての人に	1. 貧困をなくそう	

## 1. 研究成果の概要

中国の社会保障をアジアの文脈の中でどのように位置づけるかを検討するにあたり、「福祉中国」というキーワードを用い、その特徴を三つの側面から整理してきた。すなわち、制度的には3層構造の展開、保障水準的には最低限度の生活保障にとどまる傾向、そして運営面では強い政府が特徴として挙げられる。

しかし、こうした議論には、従来の福祉国家論において「近代家族」の視点が欠けていた。そこでこの空白を補うかたちで、中国におけるケア問題に焦点を当て、特に介護保険制度を対象に検討を行った。

分析においては、「脱家族化」と「再家族化」という視角を導入し、国家と家族の役割分担の変容を捉えることで、現代中国の福祉レジームの特質をより多面的に明らかにした。これにより、中国の福祉モデルとしての独自性をより深く考察することが可能となった。

## 2. 著書・論文・学会発表等

(できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)

## 【論文 (査読あり)】

なし。

## 【著書・論文 (査読なし)】

「福祉中国—多層的社会保障制度の構築」、朱珉、単著、『社会政策』16(1)、190-200頁、2024年  
「家族主義からみる中国の高齢者介護政策」、朱珉、単著、『週刊社会保障』78(3274)、42-47頁、2024年  
「就労優先下の就労と社会保障の連携—中国における就労困難者への就労支援」、朱珉、単著、阿部誠編著『就労支援政策にみる福祉国家の変容』、ミネルヴァ書房、2024年

## 【学会発表等】

「日本における住宅セーフティネットの構築—住宅確保から居住支援へ」復旦大学ワークショップ「社会政策研究におけるフロンティア」、上海復旦大学文科楼 919 室、2024 年 9 月 11 日

## 3. 主な経費

① 関連書籍を購入した。

② 学術交流のため、日中韓社会保障国際論壇や上海復旦大学への出張をおこない、携帯用パソコンを購入した。

## 4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)

特になし。

(本文は2ページ以内にまとめること)